

基礎体力の向上と仲間づくりからアスリートへの夢を育てる
～15年、健康と笑顔の裾野拡大、次なるステージへ～
（鶴岡市民健康スポーツクラブ・山形県鶴岡市）

1. 種目協会と協働でトップアスリートの育成を目指す

平成13年から始まったジュニアコースの子ども達の技術向上に伴い、保護者や指導員、子ども達自身からも「楽しむとともに、上手になりたい」との強い希望があり、将来のオリンピック選手を目指す指導内容に重点をおいた「育成コース」が誕生しました。器械体操、テニス、バドミントンの3種目でクラブと種目協会が協働し、子ども達の「素質を伸ばし、大きな夢と希望を与える」を目標に活動しています。

2. バドミントン育成コース（指導員：遠藤保樹）

ジュニア選手の一貫した強化は、鶴岡バドミントン協会としても最も重要な課題であり、「競技力向上におけるクラブと協会の共有の場」がある事に大変感謝しています。現在の会員は、中学生を中心に将来を有望視される選手ばかりで、指導には協会スタッフ3名が当たる他、地元で就職した若い一般選手たちも練習相手になっています。個々の技術レベルに応じた一貫した指導が特徴で、皆、各種大会で優秀な成績を収め、中には全国大会等で結果を残し、ジュニアナショナルチームに選ばれている選手も輩出しています。



3. テニス育成コース（指導員・中村理一郎）

このコースの小学生達が中学生になる時、中学校にテニスの部活動がないため、将来も何とかテニスを続けたいとの熱烈な要望が本人、保護者から出され実現しました。保護者が全面的に協力する条件の下、週3回・各2時間の練習は、コーチが指導、練習ボールの購入・管理等は保護者、会費・コート確保はクラブが担当と役割分担して活動しています。県ジュニアランキング入りや東北大会に出場する選手もあり、大会で成人を破って1,2位を独占するなど順調に成長しています。一般コースの生徒へも良い刺激を与えており、将来は、この中から、精神と技術の両面で立派に成長し、クラブの良き指導者がでてくる事も期待できます。



メルマガ6月(56号) <特集> クラブの特徴と魅力を考える 競技力向上(1)

4. 器械体操育成コース(指導員・木島秀明)

レッツ器械体操は当初は週1回のコースでしたが、地区体操協会から指導者確保等の支援を受け、時々ニーズ、子ども達の成長に合わせて、週2、週3回と徐々に、開催日を増やしてきました。一番苦労しているのが子ども達の成長に合わせた指導とそのレベルに合った指導者の確保、指導方法の変化に対する体制作りですが、クラブと体操協会の連携で進めています。上手、下手に関係なく、“いつでも”“だれでも”“この地区にいる限り”“進学しても”『体操競技』を続けていけるクラブ環境を作りたいと願っています。



「育成コース」の今後の目標は、さらに部活動との協働・連携を目指し、子どもたちの健やかで穏やかな成長を願い、多様なニーズを尊重しながら明るく、楽しく、充実したスポーツ環境を提供していくことが、次ステージ発展への重要課題と考えています。

(鎌田博子 鶴岡市民健康スポーツクラブ クラブマネージャー)

【鶴岡市民健康スポーツクラブ プロフィール】

1. 設立
設立年:平成8年4月
経緯:平成7年から文科省のモデル事業を受け、地域一体となって創設
2. 地域
人口:約14万人
特性:東北一広い面積で、豊かな自然と文化・芸術、人情厚い市民の住む城下町
3. クラブ
会員数:720名(平成22年4月現在)
予算規模:1,750万円(平成22年度)
4. 連絡先
〒997-0825 山形県鶴岡市小真木原町2-1
TEL:0235-25-8131 FAX:0235-25-8134
Email:info@tsksc.com URL:<http://www.tsksc.com>